

## 令和7年度 旅行企画第2弾!!

# 健友“春の日帰り旅行”

## 春の横浜湾岸エリアの 空中散歩と 中華街ランチ

- ◎横浜海岸エリアに開設された ヨコハマ エアキャビン を利用しての空中散歩。
- ◎カップヌードルミュージアム・赤レンガ倉庫・山下公園などの自由散策。
- ◎中華街の朝陽門付近の重慶飯店での食事会。

1 実施日時 令和8年3月5日(木) 集合時間 9時30分

2 集合場所 JR京浜東北線・根岸線「桜木町駅 南改札口を出てすぐにある観光案内所の前」  
(健友旗を持ってお待ちします)

3 予定コース

【行程】 9:30 集合・出発…桜木町駅 <エアキャビン乗車> ~ 10:00 運河パーク駅  
<徒歩>→ 10:15 カップヌードルミュージアム <徒歩>→ 赤レンガ倉庫・山下公園等  
<徒歩>→ 12:30 昼食（朝陽門『重慶飯店』） ★15:00頃解散

運河パーク駅（キャビン到着駅）からカップヌードルミュージアムまで約400m（6分）、隣接する赤レンガ倉庫、山下公園を散策し約1700m（25分）で中華街（朝陽門）へ徒歩で移動します。

なお、バス移動の場合は、バス停「A5 赤レンガ倉庫・マリン&ウォーク」から「A7 中華街（朝陽門）」まで、20分間隔で市営循環バス（あかいくつ）の運行があります。

4 コース内のご案内

### ヨコハマ エア キャビン

日本初、世界最先端の都市型循環式ロープウェイ、JR 桜木町駅前と新港地区の運河パークとを結び、みなとみらいの街を最高高さ40mから楽しみながら散策ができます。

### カップヌードルミュージアム

世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明し、地球の食文化を革新した日清食品創業者・安藤百福の創造的思考を、数々の展示を通じて体感することができます。



### 赤レンガ倉庫

明治末期から大正初期に明治政府によって横浜税関新港埠頭（保税）倉庫として建設され模範倉庫を、激動の20世紀を潜り抜け2002年に当時の面影を残したまま文化・商業施設として生まれ変わりました。





重慶飯店の提供

橫浜中華街

横浜市中区山下町にある中華街です。日本最大かつ東アジア最大の中華街で、前身である 1866 年(慶応 2 年)の横浜新田居留地時代から数えると 150 年強の歴史をもち。約 0.2 平方キロメートルのエリア内に 500 店以上の店舗があり、その時々の流行によって頻繁に入れ替わっています。

- |    |      |   |
|----|------|---|
| 5  | 募集人数 | 50名(健友未加入の方もお試し参加できます)  |
| 6  | 参加費  | 9,000円(ただし、未加入の方は10,000円)   |
| 7  | 申込方法 | ①普通はがき 又は メール・ファックスを利用して、下記のはがき申込記載例の①～⑥の項目を記載しお申込みください。<br>※グループでの申込も受付します。<br>②最少催行人数 15名   |
| 8  | 申込期限 | <b>2月12日(木)(必着)</b><br>抽選の場合は、2月13日(金)に事務局にて役員立ち合いの上、厳選を行います。当選者には電話又はメール・ファックスを利用して参加の決定及び参加費の振込先をご案内します。参加費は事務局へ持参するか、ご案内の振込先へ納入してください。 |
| 9  | 納入期限 | <b>2月20日(金)(必着)</b>   |
| 10 | 参加取消 | 参加を取り消しする場合は、ファックス又はメール、電話で退職会事務局までお申し出ください。ただし、取消時期が下記の場合はキャンセル料が発生します。<br>※ 2月24日(火)以降の取消は、最大6,500円のキャンセル料が発生します。                       |
| 11 | その他  | 本旅行は現地集合・現地解散で実施します。当日は非常時に携帯電話でのやり取りが想定されますので携帯電話の携行をお願いいたします。   |

●当日緊急連絡先:旅行部長 斎藤 栄 090-1733-3497 事務局 佐藤恵子 090-2420-1915

(表)

## はがき記載例

85

板橋区板橋 2 の 66 の 1  
板橋区役所総務課内  
板橋区退職者会事務局行

(裏)

- ① 参加事業名(複数記載可)
    - ・春の日帰り旅行
    - ・俳句の会
  - ② 住所
  - ③ 氏名
  - ④ 携帯電話番号  
または固定電話番号
  - ⑤ ファックス番号  
またはメールアドレス
  - ⑥ 備考  
昼食同席希望者の氏名  
など

【板橋区退職者会事務局】

住所：板橋区板橋 2-66-1

## 板橋区役所総務部総務課内

担当：佐藤恵子

電話・ファックス：03-3579-2749

メールアドレス：

so-taisyokusyakai@city.itabashi.tokyo.jp